

第五十六回
帝國議會
貴族院

船舶職員法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

委員氏名

委員長

若林 資藏君

副委員長

澤山精八郎君

侯爵鍋島 直映君

子爵大久保 立君

子爵岩城 隆徳君

男爵赤松 範一君

大城 兼義君

松本勝太郎君

鳴海周次郎君

昭和四年三月二十二日(金曜日)午後一時
九分開會

○委員長(若林資藏君) ソレデハ始メマセ

ウ、政府委員ノ御説明ヲ承リマス

○政府委員(宮崎清則君) 私カラ概要此案

ノ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、現在ノ
船舶職員法ハ日清戦争ノ直後、即チ明治二
十九年ニ制定セラレタノデゴザイマシテ、
其當時マデハ外界ノ定期航路ニ致シマシテ
モ、極メテ其範圍ノ狭イモノデゴザイマシ
テ、印度、支那、浦鹽ト云フヤウナ大體近
海ニ限ラレテ居タヤウナ有様デアリマシ
タ、丁度二十九年ノ三月ニ當時ノ優秀船ト
モ申スベキ船ガ出来タノデアリマスガ、是
ガ六千噸デアリマシテ、即チ上佐九ト申シ

マスガ、是ガ初メテ歐羅巴航路ヲ開クト云
フヤウナ時代デアッタノデアリマス、デ其當
時ノ登簿船舶ノ數ヲ見マシテモ、此登簿噸
數ヲ合セテ見マシテモ、三十六萬噸餘リト
云フ風デアリマシテ、其後此法律ガ海運ノ
實況ニ合ハスト云フヤウナコトデアリマシ
テ、明治三十八年ニ一部分ノ改正ガ行ハレ
タノデゴザイマス、デ三十八年ニ一部分ノ
改正ガ行ハレマシタガ、其後其マ、デ、今
日マデ續イテ來タノデアリマシテ、法律ガ
出来マシテカラ約三十年ニナッテ居ルノデ
アリマスガ、其間ニ日本ノ海運ノ現狀ハド
ウカト申シマスルト、今年ノ一月末ニ於テ、
内地ニ籍ヲ有ッテ居リマスル汽船ダケデモ
三百七十五萬噸ヲ越エテ居ルノデアリマ
ス、更ニ之ニ帆船ヲ加ヘマスレバ、更ニ又
其植民地ノ在籍船ヲモ加ヘマスルト、五百
萬噸ヲ突破スルノデゴザイマス、又定期航
路ノ數モ今日ニ於キマシテハ、歐米ト遠洋
方面ダケデモ、二十三線ヲ算シテ居ルト云
フヤウナ實況デゴザイマス、之ニ印度デア
ルトカ、南洋、支那等ノ近海方面ヲ加ヘマ
スルト、定期航路ニ從事スル船舶ト致シマ
シテハ、合計五十四線ニ達シテ居ルノデゴ
ザイマス、此外ニ定期線ノ活躍ハ又非常ニ

盛シナモノデゴザイマシテ、今日ニ於キマ
シテハ、此日本ノ船舶ノ航跡……船ノ歩キ
マスル跡ト云フモノハ、總テノ各方面ニ至
ル所ヲ歩クト云フヤウナ實況ヲ呈シテ居ル
ノデゴザイマス、左様ナ次第デアリマスカ
ラシテ、船ノ形モ航路ガ擴張シテ、海外ノ
遠方ニ出掛ケマスルニ從ッテ大キナル、此
遠洋ノ船……船舶用ノ機械モ時代ノ進運
ニツレテ、著シク進歩改善ヲサレタノデア
リマシテ、其外ニ船舶ニ關スル諸般ノ事情
等モ本法ヲ作リマシタ二十九年ノ狀況ニ較
ベマスレバ、非常ニ變化ヲ致シテ參ッタノデ
アリマス、デ此間ニ於キマシテ通信省ハ省
令等ヲ出シマシテ、本法ヲ適當ニ運用イタ
シテ參ッタノデアリマスガ、何分此法律自體
ガ相當ニ古イモノデゴザイマスカラシテ、
譬ヘテ申シマスレバ、遠洋航路ノ船舶ニ法
律上乘セナケレバナラヌ職員ト云フ者ハ、
總噸數五百噸ノモノト一万噸ヲ越ユルモノ
トノ間ニ何等區別シテ居ラヌ、五百噸ノモ
ノト五百噸以上ヲ越エルモノ、即チ一万噸
ヤ一万五千噸ノモノトハ何等其處ニ差別ヲ
設ケナト云フヤウナ實況ニナッテ居ルノ
デアリマス、又此各船舶ニ幾ラカノ職員ヲ
乗セルト云フ職員ノ配置乃至ハ船員、海員

ノ免狀ノ效力ニ關スルコト等、相當法律ノ
改正ヲ必要トスル點ガ多ク生ジテ參リマシ
タノデ、是等ノ點ニ付キマシテ、船主又ハ
海員ノ團體其他關係ノ各方面カラ、此法律
ノ改正方ニ付キマシテ、色々陳情請願等モ
アッタノデゴザイマス、斯様ナ次第デゴザイ
マスルカラ、通信省デハ一昨年ノ末ニ船主
海員或ハ漁業關係者ヲ集メマシテ、其上ニ
尙關係官廳ノ者モ集メマシテ、其法律ニ關
スル改正ノ協議會ニ開キマシタ、其協議會
デ續メマシタ意見ヲ參酌シテ更ニ調査考究
ヲ遂ゲマシテ、本案ヲ提出スル運ビトナッ
タノデゴザイマス、改正ノ要旨ヲ申上ゲマス
ルト大型船舶デ旅客船、貨物船トノ區別ニ
應ジマシテ、相當ノ職員ヲ増加イタシマシ
タ、ソレガ第一點デ、次ニハ機關部ノ職員
ハ從來船ノ噸數ニ依ッテ乘込マシテ居ッタノ
デアリマスガ、機關部ノ取扱ハ……機關部
ノ取扱ハ御承知ノ通り馬力ヲ標準トシテ決
メナケレバナラヌモノデゴザイマスカラ、
サウ云フコトカラ、從來噸數ニ依ッテ機關部
ノ職員配置ヲ決メテ居リマシタノヲ、馬力
ヲ標準トスルコトニ改メマシタ、更ニ又此
乙種免狀ハ從來近海航路ノ千噸未満ノ船ニ
限ッテ職員トシテ乗込ムコト、ナッテ居タ

ノデアリマスガ、此法律制定ノ當時ニ於テハ千噸ト云フ如キハ相當船舶ノ大キイ方デゴザイマシタケレドモ、今日ニ至ッテ見マス

レバ近海航路船ト申シマシテモ、千噸未満ト云フノハ極メテ少ナイノデアリマスカラ、其結果、乙種免狀ヲ持ッテ職員ハ……海員ハ法律デ行使出來ルヤウニナッテ居リマス

カラ、自然船舶ガ大キクナッタノデ船ニ乗レナイ實況ニナッテ參ッタノデアリマス、ソレ故此千噸ト云フノヲ擴張イタシマシテ、是ヲ二千噸未満ノモノマデ乘込ミ得ルヤウニ改正ヲ致シタノデゴザイマス、更ニ又小サイ小形船舶ノ職員ハ從來試験ヲ施シタノデア

リマスガ、試験ヲヤリマスト云フコトニナリマスルト色々困難モゴザイマス、然ルニ其後ノ實際技術ヲ見マスルト、中々技術ノ點ニ於テ優レテ居ルモノモ多ウゴザイマス

カラシテ、斯ウ云フ小形船舶ノ職員ハ實地ノ經歷ヲ重ク見マシテ、試験ヲ行ハナイデ免狀ヲヤルコトヲ得ルコトヲ適當トスルモノモアリマスカラ、サウ云フモノニ對シテハ試験ヲ行ハナイデ免狀ヲヤルト云フ途

ヲ開クト云フコトガ、大體此改正ノ骨子ニナッテ居ルノデゴザイマス、尙各條ノ内容等ニ付テハ御質疑ニ應ジマシテ更ニ申上ゲタイト考ヘテ居リマス、大體今申上ゲマシタヤウナ趣旨デ本案ヲ提出イタシタノデゴザイマス

○委員長(若林資藏君) 御質問アリマシレバ……

○男爵赤松範一君 私ハ遲刻イタシテ、今政府委員ノ御説明ヲ十分ニ伺ッテ居リマセヌカラ、或ハ御説明中ニアッタコトニ付テ伺

フヤウナコトニナルカモ知レマセヌガ其邊ハ御諒承ヲ願ヒマス、此改正法律案ノ第一號表ニ付テ改メラレテ居ル所ヲ拜見スルト三等運轉士若クハ三等機關士ヲ今度法定職員ニ

入レラレテ居ルヤウニ拜見イタシマスガ、是ハ英吉利ヤ獨逸アタリノ實例ハドウ云フ風ニナッテ居リマスガ、其點ニ付テ拜聽イタシタイト思ヒマス

○政府委員(宮崎清則君) 英吉利デ例ヲ申上ゲマスト、外國航路ニ從事シテ居リマス船デ二人以上運轉士ヲ乘込マセル船舶ト云

フノガゴザリマスガ、ソレハ船長ノ外ニ一等運轉士、二等運轉ノ免狀ヲ有シタモノヲ運轉士トシテ乘込マセルト云フヤウナ仕組

ニナッテ居リマス、ソレカラ亞米利加デハ二百噸以上千噸未満ノ船ニハ船長ハ是ハ一人デアリマスガ、運轉士二人ト云フヤウナコトニナッテ居リマス、千噸以上デアリマスト

船長ノ外ニ運轉士ガ三人ト云フヤウニナッテ居リマスノデ、是ハ一定ノ検査官ガ標準

ニ依リマシテ之ヲ乘込マセルト云フヤウナ仕組ニナッテ居リマス、又獨逸ハ非常ニヤヤ

コシクナッテ居リマスノデナカハ……是ハ面

倒デゴザイマスガ……

○男爵赤松範一君 大體ノコトデ宜シウゴザイマス

○政府委員(宮崎清則君) 佛蘭西モ矢張り遠洋航海ニ出マスモノハ七百噸以上五千噸未満ハ船長外ニ一等運轉士、其外ニ運轉士ヲ乘セルト云フコトニナッテ居リマス、大體

何レノ國ニ於キマシテモ遠ク出掛ケル航路ニ從事スルモノニ相當大キナモノニナリマ

スレバ、二等運轉士或ハ三等運轉士ヲ乘セルト云フヤウナ趨勢ニナッテ居ルヤウニ考ヘマス

○男爵赤松範一君 是ハ少シ素人メイタ御尋ネヲ申上ゲルヤウデスガ、甲種、乙種、若クハ丙種ノ區別ガアルヤウデアリマス

ガ、此施行細則ノ第九條ニ「高等ノ免狀ハ下等ノ免狀ニ代用スルコトヲ得」トシテアル、即チ甲乙丙ト云フノハ、乙ヨリ甲ガ上

等デ、丙ヨリ乙ノ上等デアルト云フコトハ常識的ニ考ヘラレマスガ、規則ノ中ニ甲、乙、丙ト云フコトニ付テ、順位ガドレガ高

等デドレガ下等デアルト云フ風ナ明文デモアリマシデセウカ

○政府委員(宮崎清則君) 申上ゲルマデモナク甲種免狀ハ最モ完全ノ免狀デゴザイマシテ何等ノ制限ガ附イテ居ラヌ、唯甲種免狀ト申シマスガ甲種免狀ノ中ニハ甲種船

長、甲種一等運轉士、甲種二等運轉士ト云

フモノガゴザイマス、甲種免狀ハ汽船デモ、帆船デモ、何レニモ乘込メル資格ガアルノ

デアリマス、乙種免狀ニナリマスト是ハ汽船ノミニ限ラレテ居ルノデアリマシテ、而モ是ハ或一定ノ制限ヲ附ケラレテ居ル、此

表ニモアリマス通り航路ト致シマシテモ近海以上ニ出ラレヌ、船モ或一定ノ噸數ノモノニ限ラレテ居ル、ト云フヤウナ仕組ミデアリマシテ、ソレカラ丙種運轉士ハ是ハ全

然帆船ニ乘込ムモノデアリマシテ、是モ帆船ニシテモ其噸數ニ制限ヲ受ケ、航路ニモ制限ヲ受ケテ居ルノデアリマス、サウシテ

此甲種、乙種、丙種、是ハソレトノ種類ガ違ッテ居リマスノデ、所謂二種ノ免狀ニナリマス、同種ノ免狀デアリマスレバ、例ヘバ

甲種免狀デアリマスレバ、甲種船長ノ時ニハ甲種一等運轉士、甲種二等運轉士、乙種船長ナラバ乙種一等運轉士、乙種二等運轉士、丙種ナラバ丙種船長、丙種運轉士ト云

フヤウナコトニナッテ居リマスノデ、此上下ノ區別ハ大體ニ於テ同種ノモノニ付テデア

リマスルガ、時ニ依テハ殆ド同ジ資格ト見得ルヤウナモノモ二種ノモノデモアリマスノデ、

ソレハ代用免狀ト認メル規則ガゴザイマスカラ、其時ニハ此代用ハ無論下級ノモノデモ認メルノデアリマス、又同種ノモノデモ宜イノデゴザイマスガ、ソレハ此施行細則ノ表ガゴザイマスノデ其處ニ代用免狀ヲ認

メルヤウニシテ居リマス、尙ホ施行細則ノ九條ニ大體上下ノ區別ハ書イテゴザリマス

○男爵赤松範一君 モウ一ツ伺ヒマスガ

「船舶ノ運行若ハ機械ノ運轉ニ關スル學術ヲ教授スル學校」ト云フノハ是ハ商船學校トスレバ明ニ分テ居ルノデスガ、商船學校以外ニハ現在ドウ云フ學校ヲ指定サレノデアリマスカ

○政府委員(宮崎清則君) ソレハ御説ノ如ク商船學校ハ無論ノコトデアリマスガ、其外ニ水産講習所ト云フヤウナ所ガアリマス

ノデ、此處デハ矢張り航海ノコトヲ相當教ヘテ居リマスカラ、サウ云フモノモ完全ナモノデアラナラバ認メヤウ、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス

○男爵赤松範一君 サウスルト云フト此學校ハ官公私立何レニモ相當ニ資格ノ或ル標準ヲ以テ其資格アリト認メ得ル所ノ學校ニ於テノ科程ヲ了タモノト云フ意味ニナリマスカ

○政府委員(宮崎清則君) 仰セノ通りニ官私ハ區別シナイ積リデアリマスガ、私立學校デ設備ガ不完全デアレバ逋信大臣ハ認メナイト云フコトニナルト考ヘマス

○男爵赤松範一君 モウ一ツ伺ヒタイノハ只今第一號表ノ中ニ例ヘバ茲ニ汽船ノ近海航路ノ第一區汽船トシテアリマス、此中ニ、是ハ例ヲ舉ゲテ申スノデスガ、二千噸未滿

ノ船長ハ乙種船長免狀、之ニハ甲種ノ一等運轉士ハ乙種ノ船長ニ代テ職務ヲ執ルコトガ出來ル譯デアリマセウカ

○政府委員(宮崎清則君) ソレハ大體私共ハ其甲種ノ一等運轉士ト乙種船長ト大體同等ノモノト見テ居リマスノデ、何レ此施行規則ノヤウナモノデ規定致シタイト考ヘテ居リマス

○澤山精八郎君 此海員免狀ヲ非常ニ擴張サレタヤウニ考ヘマスガ、此港内ヲ歩ク小蒸汽等ニモ矢張り丙種ノ免狀ヲ持タネバイカヌデスカ

○政府委員(宮崎清則君) 汽船ニナリマスレバ矢張り免狀持チヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、但シ五噸未滿デアリマシテ或ハ端舟トカ云フコトニナリマスレバ別問題デアリマスケレドモ、先ヅ汽船ト云フコトニナリマスレバ免狀ヲ持タナケレバイカヌト考ヘテ居リマス

○澤山精八郎君 發動機船モ發動ノ機械ガ付イテ居ルノガ港内ヲ歩クニ矢張り同様ニナッテ居リマスカ

○政府委員(宮崎清則君) 發動機ノミヲ以テ運航スレバ矢張り汽船ト同様ニ扱ハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、併シ免狀ハ矢張り御承知ノ如ク簡易ナ免狀ヲ出シマシテ、實際ニ於テサウ困ルヤウナコトハナイト考ヘテ居リマス

○澤山精八郎君 此公稱馬力ト實馬力トハドノ位ノ違ヒガゴザイマスカ

○説明員(永野馬太郎君) 此公稱馬力ト申シマスノハズット前ノ農商務省令ニ確カ公稱馬力ノ算定方法ガ書イテアルト考ヘマスガ、アレニ依リマスレバ實際ノ實馬力ト殆ド同ジヤウナ算定ノ方法ニ依ッテ詰リ是ハ計算スルヤウナ都合デアリマス

○澤山精八郎君 チョット考ヘマシタ所ガ、例ヘバ二十噸ノ船デ或ハ甲種船長ト、ソレカラ其公稱馬力ハ實馬力ト私共ハ一向比較ガ取レマセヌガ、全ク機關長ノ免狀ガ縣隔ガアルヤウニ考ヘマシタノデスガ、サウ致シマス、二千噸ノ船ニ甲種船長ガ乗リマスト、二千噸以上ノ實馬力ト云フモノハ幾ラニナリマスカ

○政府委員(宮崎清則君) 是ハ御承知ノ通り船ニ依リマシテ噸數等ハ並行イタシテ居リマセヌ、噸數ガ少ナクトモ馬力ノ多イノモアリマス、是ハ自然用途ガ違フノデサウ云フコトニナリマス、大體ノ所ヲ摘ンデヤッテ見タノデアリマス、先ヅ二十噸内外ノ船ナラバ千三百馬力ト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、三、四千馬力ノ所ナラバ、五、六千噸ノ船ニ相當シハシナイカト考ヘテ居リマス、是ハ無論大體ノ所ヲ見テ申上ゲテ居ルノデアリマス、無論船ニ依ッテ大變違ヒガアルノデアリマス

○澤山精八郎君 サウ致シマス、此二千噸以上三千噸マデノ船ニハ機關長ハ御改正ノ所ニ依リマス、二等機關士ノ免狀デ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(宮崎清則君) 只今ノハドノ欄デゴザイマセウカ

○澤山精八郎君 近海航路デモ宜シウゴザイマス、二千二百馬力ノモノ、機關長ハ二等機關士トナッテ居リマスガ、此二千二百馬力以上ノモノハヤハリ甲種ノ機關長デナケレバイカヌノデアリマス、矢張り公稱馬力ト云フ先ヅキノ御話ニ依レバ殆ド實馬力ト同ジモノト云フコトデゴザイマスガ、果シテサウ云フモノニナルノデアリマスカ

○政府委員(宮崎清則君) 甚ダ恐れ入リマスガ、近海航路千二百馬力未滿ト云フ所デゴザイマス、是ハドウ云フ御質問デ……

○澤山精八郎君 千二百馬力未滿ト云フノガ機關長ハ一等機關士、千二百馬力カラ飛ンデ四千馬力ニナリマスナ

○政府委員(宮崎清則君) 千二百馬力ハ大體二千噸内外ノ船デナイカト考ヘテ居リマス

○澤山精八郎君 サウスルト千二百馬力カラ四千馬力マデノ間ニハ別ニ何モ階級ハナイノデスナ

出席者左ノ如シ

委員長 若林 實藏君

副委員長 澤山精八郎君

委員

侯爵鍋島 直映君

子爵大久保 立君

子爵岩城 隆徳君

男爵赤松 範一君

大城 兼義君

松本勝太郎君

鳴海周次郎君

國務大臣

逓信大臣 久原房之助君

政府委員

逓信省管船局長 宮崎 清則君

説明員

逓信技師 永野馬太郎君

ハ一等機關士、斯ウ云フコトニナッテ居リマ

ス、千二百馬力以上サウデゴザイマス、二

千馬力未滿ニハ機關長ニハ機關長、機關士

ニハ一等機關士、斯ウ云フコトニナッテ居

リマス

○澤山精八郎君 公稱馬力ト云フノハ先程

御話ニナリマシタ通り實馬力ヲ公稱馬力ト

承知イタシテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(宮崎清則君) 大體間違ヒナイ

サウデアリマス

○委員長(若林實藏君) 御質問アリマセヌ

カ別ニ御質問ナイモノト見マシテ宜シウゴ

ザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(若林實藏君) ソレデハ御質問ハ

是デ止メマス、是カラ討論ニ入ルコトニ致

シマス

○侯爵鍋島直映君 私ハ此法案ニ付テハ至

極尤モナ改正案ト思ヒマスカラ、賛成イタ

シマス

○子爵岩城隆徳君 私モ賛成ヲ致シマス

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(若林實藏君) 別ニ御異議ゴザイ

マセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(若林實藏君) ソレデヤ全部原案

ニ決シマス、之デ散會イタシマス

午後一時四十一分散會